

南アフリカ為替週報

2023年9月14日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(9月7日～9月13日)

USD/ZAR: 18.7639～19.2734

ZAR/JPY: 7.65～7.86(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドル19.2から18.8前後まで2%強反発。9月13日公表の米CPI(8月分)がほぼ市場予想通りの結果となったことを受けて、為替全体でボラティリティが低下したことが、南アを含む高金利通貨への短期資金流入を促した面もあるように思われる。もっとも、その前の週は、対ドル18.5台から19.2台までランドは約4%弱下落していたため、過去1週間の動きは自律反発の域をでず、方向性としては7月下旬以降のランド安・ドル高の傾向が続いている。

南アの経済・財政状況を見極めるうえで重要な中期財政計画(MTBS)の公表を11月1日に控え、過去1週間は財政に関するヘッドラインが注目を集めた。とりわけ、南アフリカ歳入庁が9月11日に2023年1月から5月までの税収が200億ランド不足していると明らかにしたことを受けて、南アフリカの10年国債利回りは約1か月ぶりに12%を上回った。8月31日に公表された7月分の財政赤字が1,438億ランドと、市場予想の1,155億ランドを大幅に上回り、少なくとも2004年以来の規模となったことが明らかになって以来、南アの10年国債利回りは継続的に上昇圧力を受けている。南アフリカではここ2、3年、10年国債利回りの上昇(債券価格の下落)と、ランド安が共に進む連動性が鮮明となっている。こうした傾向は、南アに限った話ではなく新興国市場では一般的に見られるものの、財政悪化への懸念などに伴う債券市場からの資金流出がランド相場にも影響を与えている構図であろう。

南アの経済指標では9月7日に経常収支が公表された。2023年4-6月期の経常赤字は1,610億ランド(対GDP比2.3%)と1-3月期の640億ランド(対GDP比0.9%)から拡大した。貿易黒字の縮小が主因となっているが、南アフリカ準備銀行(SARB)の説明では、商品価格の下落に伴う輸出の落ち込みと、輸入の増加(2023年4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+1.6%と1-3月期の同+0.2%から加速した)が共に影響している。市場予想通りの結果であり、ランド相場への影響は限定的だったが、基本観として経常赤字が再び拡大したことはランドにとっては悪材料である。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
9/7	10:00	経常収支(10億ランド)	Q2	-173b	-161b	-64b
9/11	12:00	製造業生産(前年比%)	7月	4.8%	2.3%	5.9%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(9月14日～9月20日)

USD/ZAR: 18.40～20.00

ZAR/JPY: 7.10～8.40

今後1週間のランド相場は下落圧力が続く公算が大きい。引き続き、中国経済及び、米連邦準備制度の金融政策の動向をはじめ、外部環境に敏感な展開が続くだろう。また、今週は9月14日に控える欧州中央銀行(ECB)の金融政策発表が従来以上にランド相場に影響を与える可能性がある。市場予想はECBが政策金利を据え置か一段と引き上げるかで見方が2分されており、追加利上げとなればグローバルな金融環境にも少なからず影響を及ぼすと見られるためだ。みずほ(ロンドン)のエコノミストは今会合でのECBの追加利上げを見込んでいる。一方、南ア国内の経済指標では9月20日公表の消費者物価指数(8月分)が重要である。需要面からのインフレ圧力は後退している公算が大きい、国際的なエネルギー価格の上昇を考慮すれば、少なくともインフレ率の減速ペースは緩やかなものとなる公算が大きい。市場に燃えるSARBの早期利下げ観測につながる(ランドにとっては若干のプラス)可能性があるだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

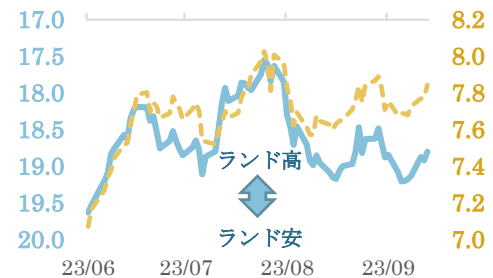
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
9/20	09:00	CPI(前年比)	8月			4.7%
	09:00	コアCPI(前年比)	8月			4.7%
	12:00	小売売上高(前年比)	7月			-0.9%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

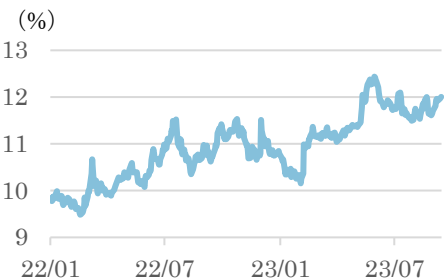
南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)

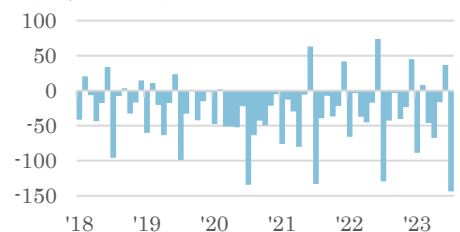


南アフリカ 10年国債利回り



財政収支

(10億ランド)



(資料: 南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

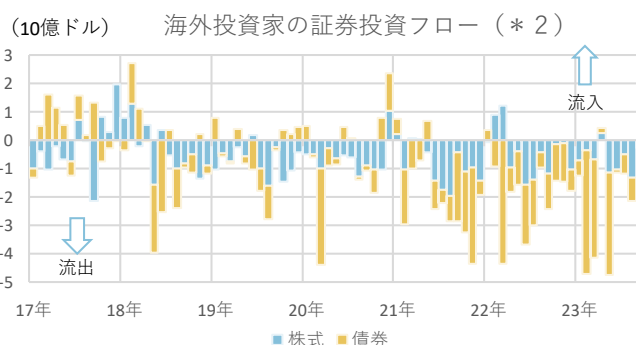
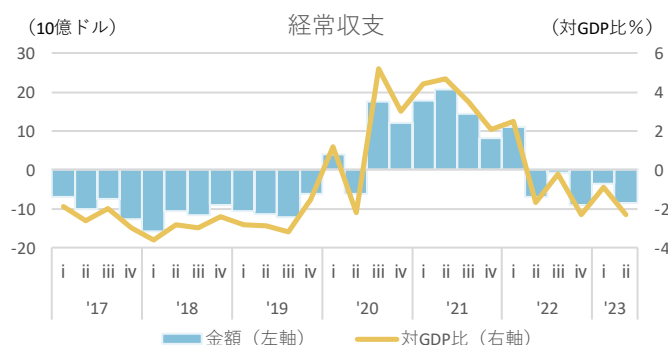
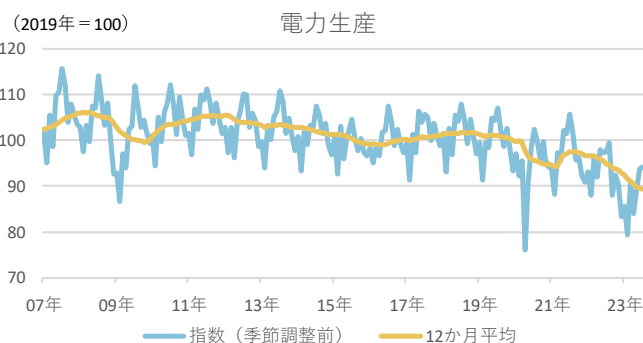
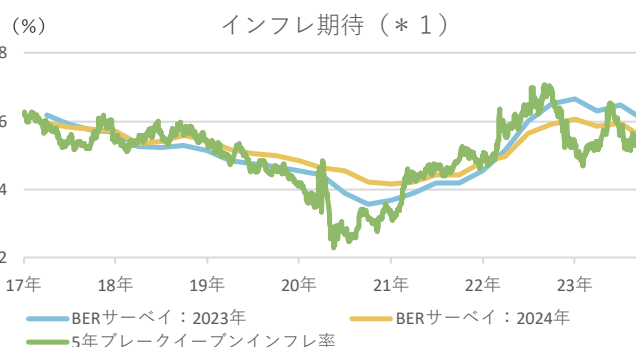
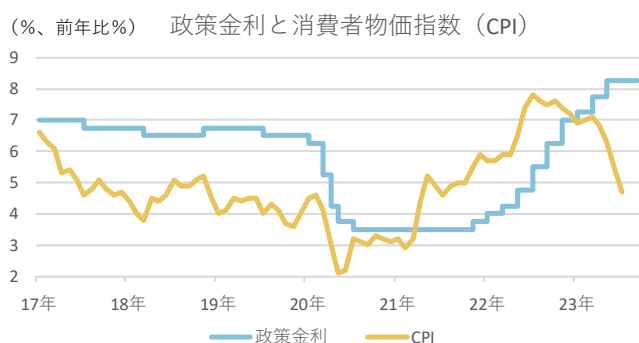
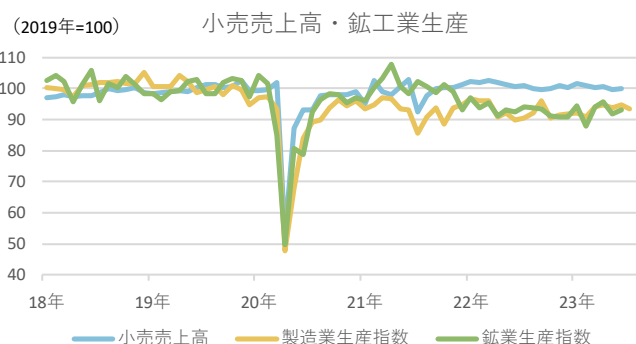
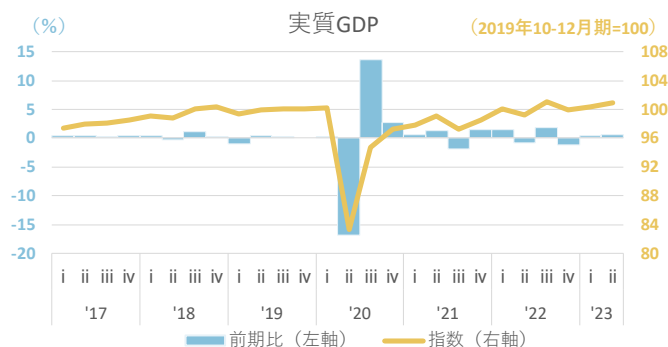
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年9月は1日から12日までの累計値。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。